

# ゾルーゲル感応膜を用いる親水性アニオンセンサー

炭酸イオン



“浸透圧の調整  
“血液中のpHの調整

生体内の炭酸イオンの測定は、臨床分析で必要とされているが、  
現在、生体試料中の炭酸イオンを選択的に測定できる優れたセンサーが  
ないため、生体適合性をもつ炭酸イオンセンサーの開発を行っている。

## イオン選択性電極(ISE)の利用

### 利点

目的イオンを選択的に定量  
応答が速い  
リアルタイム測定が可能

### 欠点

膜溶媒, 支持体の使用

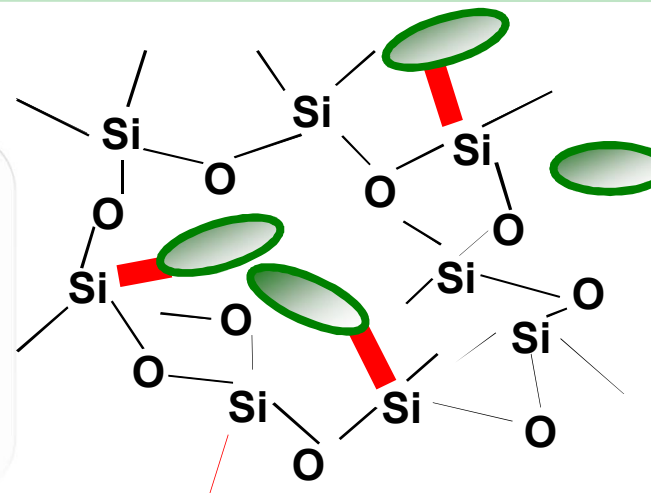
⇒ 生体内測定が困難

生体内測定のためには



ゾルーゲル感応膜の利用

生体適合性  
小型化が可能



; 炭酸イオンと  
選択的に結合で  
きるイオノフォア

結合型ゾルーゲル感応膜